

男女がともに輝くために

美浦村男女共同参画
～共に輝くみほの会～

問合せ 企画財政課
☎029-885-0340(内)208

アイスランドでのジェンダー平等の取り組みについて

篠田 京子

地球の片隅、火山と氷河の国・アイスランドが「ジェンダーギャップ指数」14年連続で1位という新聞記事を見ました。男女格差が少ない国として世界一に輝く秘密は、一体どこにあるのでしょうか。

アイスランドは、北大西洋に浮かぶ島国で、北海道よりやや大きく、火山活動と地熱が豊富なことから「火の島」とも称されます。気候は、冬は比較的温暖で、夏は涼しい日が多いのが特徴です。アイスランドの歴史は9世

紀に遡り、ノルマン人による入植が始まりとされています。中世には共和国としての体を成し、その後、ノルウェー王国の一部となつてから、デンマークの支配下に入りました。1944年には独立を果たし、現在に至ります。

①同一労働同一賃金が義務化

2018年に世界で初めて男女の給与格差を禁ずる法律が制定されました。このような法律制定が可能となつたきっかけは、1975年10月24日に起きた大規模なストライキです。国の9割の女性が参加したといわれています。

「職場に労働者がいなくなる」と、社会がいかに機能しなくなるか」を社会と雇用者に体験させたのです。

②ジェンダー平等教育の導入

教育分野においても男女平等は重要視されています。男女が等しく多様な職業やライフスタイルを目指せるよう、学校教育において、様々なプログラムが導入されています。

③世界最高の育休システム

母親、父親それぞれに6か

月間の育児休業が付与され、さらに追加で6週間は、夫婦で分け合つて好きな時に取得することが出来ます。育休中は給料の80%が国から支給されます。男性による育休が進み取得率は9割、同時に女性の社会進出にも繋がりました。

「男女平等」が社会生活の質に与える影響は計り知れませんが、法律の整備や企業の意識改革が進み、女性も男性も平等にチャンスが与えられる社会を築くことで、一層の発展に繋がるのです。

『すべての市民が持つ才能』が開花する社会を目指し、また、経済的に自立するのが難しい立場にある女性たちがいたら、個人の問題ではなく、そうなるってしまう社会構造に目を向けて解決策を探る。誰かに生きづらさを感じさせる背景となる「社会構造」に目を向ける意識は、日本人がもつと身に付けたい視点ではないでしょうか。

【参考資料】

- ・NHK「未来へ17」HP
- ・厚生労働省HP
- ・子ども家庭庁HP



みほ文芸

正調俚謡 日和吟社 字結び「立・春」

畔の陽だまり春待草がぼつりぼつりと目を覚ます
自分探しのプランを立てて一歩踏み出す春の旅
春にときめくコーデを組んで指輪渡すが断わられ
耐えて春風膨らむ桜ぐるぐるの花びら一年生
野辺に春風かけらう揺れて霞浦はうららかな水鏡
幸か地震で生き残れたが春は遠くてやるせない
あちらこちらで田おこし始め春の訪れ美浦の里
春は名ばかりまだまだ寒く炬燵暮らしの丸い背な
春を待つ身に追い打ちの雪輪島応援ただ祈る
民謡を奏でる大正琴に心躍らせ春を待つ

地球各地の争い無くせ祈る立春涙雨
やるぜ早春場所さんばら髪で四股が風呼ぶ大の里
津軽三味線梅の香のせて響く立春コンサート
能登の里にも必ず春が運ぶ幸せ笑顔咲く
梅に水仙ろう梅咲いて庭に香りの春が立つ
春よ来い来い被災の能登に心つないだ支援の輪
届く小包開けると老姉の香り立つ味噌寒仕込み
冬の別れめ立春すざりや庭にち草そこかしこ

二月の俳句(題 当季雑詠)
陽溜りに土の香宿し露の臺
老いの春つくばは歌ふ愛の詩
我行けばじょうぶたき二羽わたる
木原城残る土壘や寒椿
冬の雨能登憂いつつ蜜柑むく
日だまりにのけぞりほうける猫柳
冬銀河賢治の鉄路何処まで
半世紀ダンスにねむる春シヨール
老二人だんだん小さき冬の鍋
紅梅や花街抜ける風の音
復興の槌音待たる能登の冬
能登の子の壁新聞や春近し
蟬梅の蕾一つのエネルギー

(五十首順)

- 石戸 律華
- 伊藤 葉子
- 井戸 賀蘇道
- 上野 八千代
- 小藺 江久美
- 門脇 悠美
- 木村 幸子
- 篠原 美千代
- 関根 秀子
- 高橋 一步
- 田島 草実
- 塚本 夏雲
- 沼寄 朋香
- 長谷川 悦子
- 増尾 青蓮
- 山岡 亜子
- 山崎 笑子
- 山崎 泰弘
- (五十首順)
- 青野 安佐子
- 石毛 恵美子
- 市川 紀行
- 海道 民子
- 小林 美佐恵
- 高柳 幸子
- 田島 早苗
- 中島 輝子
- 長田 敏笑
- 増尾 尚子
- 松葉 統子
- 村崎 典子
- 山口 美代子